

木香上手

2012
64
WINTER



木の暮らし生活を提案

新居の主役はキッチン！

夢つながり

地域資源長屋 なかむら

草の根ささえあいプロジェクト

匠の技

一宮展示場と蟹江展示場がリニューアルオープンしました

心の風景

木香の森「リフォーム勉強会」が開催されました



新居の主役はキッチン！

加藤さんご夫妻（岐阜県羽島市）

今回は羽島市にお住まいの加藤さんのお宅を訪問してきました。加藤さんご夫婦が新居のコンセプトに掲えたのは、「人々が集まりくつろげる」家づくり。さて、どんなお家ができるがったのか？ さっそくお住まいの様子を紹介していきましょう。

写真／藤野 碧 文／有田幸司

家族共通の趣味は、料理！

長良川清流のほとり、のどかなコスモス街道沿いに車を走らせていくと、モノトーンの色合いがすっきりした、モダンな外観のお家が見えてきます。こちらが加藤さんの新居。お宅には、珈琲好きのご主人、料理好きの奥さま、そして男性ながら料理が趣味という2人のご子息のご家族がお住まいです。家族はみんなをもてなすのがお好きなご様子で、新居へお友達が遊びに来ることも多いそう。ご主人以外はみな料理好きで、長男さんは遊びに来たくなる、料理がしてみたくなる仕掛けがある様子ですね。

お客様をもてなす、上質な演出

玄関に入つて、最初に驚かされるのは、



一方のリビングは、洋風。高い天井に、ご主人が「背中美人」と形容する柏木工製のソファをはじめ、存在感ある家具と意匠が並び、遊び心と重厚感を併せ持つ大人らしい雰囲気を漂わせています。

日本家屋らしい縁側と静の和室から、一軒、動的で人々の集まるフロアへ

間続きの空間ですが、リビング側面の大開仕切り戸を開放すると、空間の様子は「あつー」と大きく様変わりします。仕切り戸の裏から現れるのは、パーカウンター形式の対面テーブルをもつキッチンと長大なダイニング。壁には大型の灯り取り窓が並び、明るく爽やかな空間が広がり、和室・リビング・キッチン・ダイニングが連なる大フロアに、大きく変化してしまうのです。

この見通しのよい空間の主役はキッチン



落ち着いた雰囲気を紹介したこと

の2

一方のリビングは、洋風。高い天井に、ご主人が「背中美人」と形容する柏木工製のソファをはじめ、存在感ある家具と意匠が並び、遊び心と重厚感を併せ持つ大人らしい雰囲気を漂わせています。

日本家屋らしい縁側と静の和室から、一軒、動的で人々の集まるフロアへ

色遣いを楽しんで

加藤さんのご新居で、もう一つ気になるのが、部屋を飾る家具や床面のお洒落な色づかいです。端的にそのセンスの良

い。客間から一番遠い位置に調理場を配置するのが日本建築の伝統ですが、こちらでは敢えて家の中心にキッチンを据えることで、料理をしながらあらゆる場所にいるお客様と気軽に会話が楽しめる構造になっています。このあたり、お家をどう活用するかのコンセプトが明確に出ていますよね。

ひとたびお客様が集まれば、キッチンはおもてなしの司令塔。一枚板のパーカウンターに腰掛けて、会話と料理をじっくり楽しむ人もいれば、ダイニングやキッチンでおしゃべりを楽しみながら料理を待つ、そんな楽しみ方も可能なのです。新居に建て替えてからというもの、こ子息たちと奥さまが、同時に厨房に立つ時間も増えたそう。幅広のキッチンスペースのお陰で、3人並んでものびのびと料理が楽しめるので、週末には、二子息達の友人がグループ単位で訪れては、料理を堪能していくそうです。実際に、お客様が頻繁に訪れる加藤さんのお宅ですが、2グループ以上の大人数のお客様が訪れても、みな心ゆくまで会話を料理を楽しんでいけるのですから「人が集まる」という新居のコンセプトは見事に体現されている様子ですね。

それでも、毎月多くの人が足を運び、くつろげる新居として活用できているのは、誰に対してもオープンで世話を好きな加藤さんご夫妻のお人柄あってのこと。新居の完成後には、お庭で建築スタッフを招いてバーべキューを楽しんだのですが、こんななお一人だからこそ、人々が楽しむくつろげる新居の要素を的確に押さえられたのかもしれません。この先も多くの人々が、料理を堪能してやってくることは間違なさそうです。

壁一面を飾るワードモザイクパネル。大工さんが丁寧にひとつひとつ組み上げた、柏木工製のウッドパネルは、新和建設の数ある施工例の中でも数件しかないという希少なもの。写真でしかお伝えできないですが、その圧倒的な存在感は想像を絶つばかり。玄関から客間へは、先ほどのモザイクパネルの壁面を回り込んで進みます。一旦視界を遮蔽してから、長い縁側の廊下を歩くのは、まるで料亭の廊下を案内されているような気分。わずかな移動時間の「間」が、続いて現れる空間への期待感を盛り上げます。

縁側の先にあるのは、リビングと和室の2間が繋くのがびした空間。客間と壁に、天井と柱に用いられた檜、南側にはゆったりした縁側が取られ、和の魅力をぐっと凝縮した、落ち着きある空間に仕上げられています。



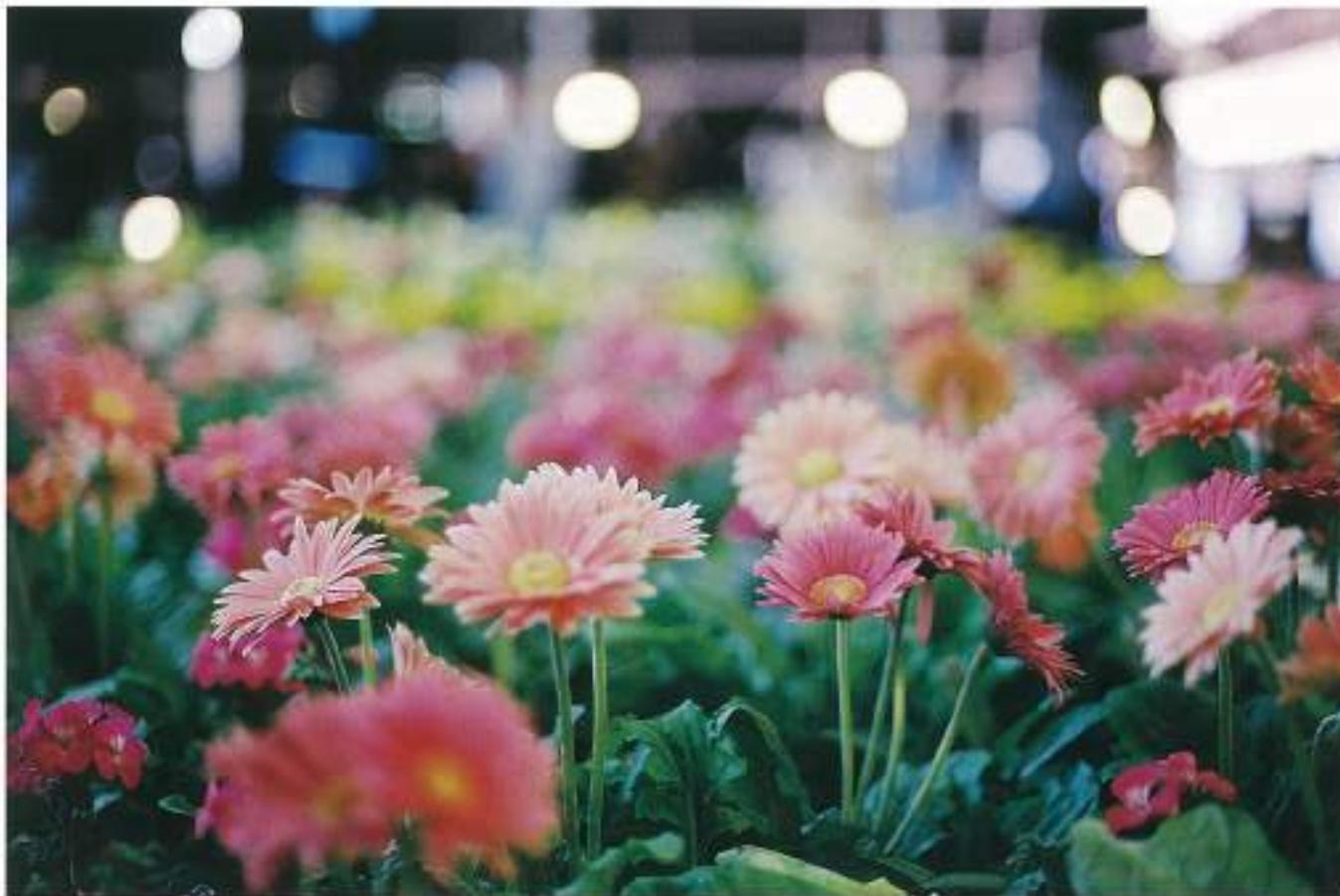
一方のリビングは、洋風。高い天井に、ご主人が「背中美人」と形容する柏木工製のソファをはじめ、存在感ある家具と意匠が並び、遊び心と重厚感を併せ持つ大人らしい雰囲気を漂わせています。

日本家屋らしい縁側と静の和室から、一軒、動的で人々の集まるフロアへ

色遣いを楽しんで

加藤さんのご新居で、もう一つ気になるのが、部屋を飾る家具や床面のお洒落な色づかいです。端的にそのセンスの良

PHOTO-ESSAY



小さな命が与える大きな力

写真・文／加藤光博

そして、最も驚いた自分の中の変化は、純粋無垢な姪っ子のことを思い出す度に、自分の心が浄化されているようを感じること。

普段、身の回りに見えていたものを特別なものに感じたり、今まででは、見逃していたかも知れないような綺麗なものによく気付くようになつたり。この花々の写真も、その最たる例で、姪っ子が生まれる前であつたら、ゆっくり立ち止まり、じっくり写真を撮ることもなかつたのではないかと思う。綺麗な花々を、綺麗により振りたい、自然とたくさんきくなつたら見せてあげよう。」と思つた。

小さな小さな体だけど、周りに与える影響は、本当にすごいな。と赤ちゃんの持つ力に関心する日々である。

最近、姪っ子が生まれた。
親戚付き合いが良い家庭で育ち、兄弟從兄弟が20人近くいる私であるけれど、その中から子供が生まれたことが初めての出来事であった。

元来の子供好きに加え、血の繋がった兄妹の子供という大きな品質目もあって、姪っ子がとにかく可愛くて。

今では、出先でベビーアイテムを見ては、「次に帰省するときには何を買つていいこう?」とまで考へるようになつた。

あたたかい夢を胸にがんばる人たちは、みんなどこかでつながっている。そんなゆるやかでシアワセな「志縁」をご紹介します。

文／武藤 恒貴

**地域資源長屋
なかむら**

運営団体：一般社団法人
SR連携プラットフォーム
名古屋市中村区本陣通5丁目6番地1
tel:052-414-5160

います。長屋を利用する団体なら誰でも利用できるミニティースペースとして協働での取組やちょっとした助け合いなどが起こりやすいように、カフェの設置や図書コーナーなどの仕掛けがなされています。この場所が目指すのは、地域の人との関わりであります。地域住民向けの二講座「いつぶく壇」や、「箱古市」などの取組を通じて、地域との関係を深めています。地域資源長屋なかむらは、オーブンしたシェアオフィス、地域資源長屋なかむらです。

この施設には現在6つの団体が入居し、12の団体が利用登録をしています。二階と三階は会社やNPOのオフィスですが、一階はオーブンスペースとなつていただけたため、さらに打ち合わせができる会議室も完備した元田舎地社だつたビルを改装した

交流を深めたいと思っています。来年には地域ぐるみで「長屋文化祭」などが開催される予定です。そこに行けば誰かがいるという居場所があることは、なかなかいいものだと実感しています。

今後、地域資源長屋なかむらは、より地域と深く関わるためにイベントを開催していく予定です。地下鉄本陣駅より徒歩8分、道路沿いの小さなビル、地域との共生を目指すこの場所に一度足を運んでみてはどうでしょうか。きっと新しい出会いがあるはずです。

個人として、地域資源長屋なかむらのボスト貸しを利用したり、草の根さえあいプロジェクトの活動に参加したりしています。そこに行けば誰かがいるという居場所ショップの開催など、悩みを抱える人たちに向き合う多様な事業を進めています。

代表の渡辺さんは、「私たちが応援した方が、安心した生活の中で自分のできることに気づき、いつか逆に私たちや誰かを支えられるようになつてほしい」と語ります。

地域資源長屋なかむらの入居団体の一つに一般社団法人「草の根さえあいプロジェクト」があります。この団体では、障害など生きづらさを抱えながらも、既存の制度や支援では解決に至らない方へ向けて支援活動を行なつています。また、専門分野をまたぐ支援者の勉強会やワークショップの開催も、一度「草の根さえあいプロジェクト」の活動に参加してみてはどうでしょうか。

現在の活動に興味のある方、学生など50人ほどです。ボランティアは、社会人から主婦、学生など50人ほどです。支援活動に興味のある方は、一度「草の根さえあいプロジェクト」の活動に参加してみてはどうでしょうか。

**一般社団法人
草の根さえあい
プロジェクト**

tel:052-462-1281
E-mail:xp.grassroots@gmail.com

**コメント：
伊東かおりさん**

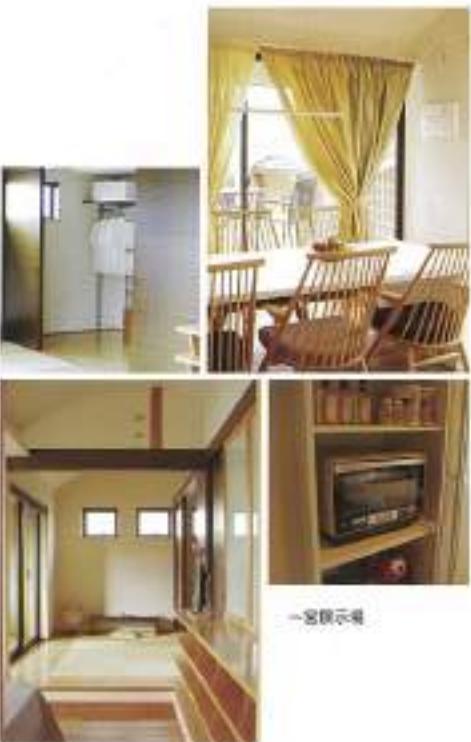


この秋、2つの展示場が相次いでリニューアルオープンをしました。

一宮展示場は、1

文/伊東かおり 写真/木村善則

一宮展示場と蟹江展示場がリニューアルオープンしました!



階を60代の親世帯、2階は30代の子世帯とした、2世帯住宅をイメージした造りとなっています。今回はちょっとお茶目なシンプルライフをコンセプトとした2階のリフォームを実施しました。LDKはアイランドキッチンとし、白いダイニングテーブルで子どもが宿題をする横で、料理をすることができます。スクリーンパネルを利用した収納によって、オンラインキッズもすっきりとし、家族や友達を呼んでみんなで料理を楽しめる空間となっています。



一方、蟹江展示場は広々とした空間に、光と風が行き渡る造りとなっている展示場です。部

屋を区切る仕切りもほとんどないため、南側はもちろん北側からも明かりが入ってきます。それでも軒が長いため、夏は涼しく冬は暖かいのだと。リフォームによつて木と相性のいい北欧モデルの小物が並んだことで、絶妙な和と洋の組み合わせを実現しました。床にはホワイトアッシュを使用し、若い世代にも受け入れられる開放的な空間を作っています。

新しくリニューアルした2つの展示場に、ぜひお越しください。

木香の森「リフォーム勉強会」が開催されました

文・写真/大槻弘宜



11月11日に、木香の森展示場にて行われた「絶対!失敗しないリフォーム勉強会」にお邪魔しました。当日は雨にも関わらず、熱心に6組の参加者の方々が受講されていました。講師はリフォームアドバイザーの細葉好彦さん。一人一人に語りかけるような話し方で参加者を惹きつけます。

リフォーム勉強会は、1ヶ月おきに木香の森にて開催されています。朝10時開始で、1時間ごとに休憩があり、集中して聞けるように配慮されています。正午過ぎにお昼休みをはさみ、15時まで続きます。その後は個別相談会もあり、じっくりと話を聞いてリフォームについて理解を深めることができそうで

リフォーム勉強会に参加することで、参考になることも多いはずです。リフォームについてもう少し知りたいという方は、ぜひ参加してみてはいかがでしょうか。



勉強会を担当する清水さんは、「新築にしようかりリフォームにしようかと考える方は多くいらっしゃいます。また、リフォームはどうしても不透明に感じてしまう部分もあり、なかなか分からず、分も多いです。だからこそ、これからなくて悩んでいらっしゃる方々の参考になれば」と企画されたそうです。また「勉強会を通じて一つの改修をすることによって、3つのメリット(美しさ、機能性(動線、収納など)、性能アップ(耐震性、断熱性、採光、通風など))を感じて頂ければ幸いです。」とメッセージを頂きました。

活きてる日々

四季折々、私たちの日々を彩り、楽しませてくれる植物について、ちょっといい話、役立つ知識を紹介します。

文・写真/山崎智子



が「ヒベリカム」です。

これは実物ですが、何か本腰を入れて取組んでみよう、夢を叶えようと自分に気合を入れたい時に力を貸してくれます。

そんなに大事でなくとも、何かを成し遂げた時の達成感は嬉しいものですね。

今年も皆さまにとって喜びの多い年になりますように。

また新しい年がやってきますね。今年もいい年だったと振り返えられるように、新年は赤い花で迎えませんか。

陰陽五行説でいうと「陽」の気を放つ赤い色は、太陽を刺激して何事にも積極的にさせる意欲を引き出してくれます。

血流を良くし全身を温めてくれるので、低血圧や冷え性の方にも効果

があると言われています。そんな効果をもたらしてくれるの

お便り大募集

インテリア、収納、リフォーム、ガーデニング等々、暮らしを便利で楽しくするアイデア。身の回りで起こった出来事などをエッセイ風にまとめたものなど、みなさんの声をお待ちしています。本誌に関するご意見、ご感想、ご質問、提案等も大歓迎です。

住所、氏名（誌上匿名可、年齢、電話番号を明記の上、返信用ハガキ（既新和建設宛）をご利用下さい。

*掲載させて頂いた方には、図書券をお送りいたします。

おおごえこごえだより

みんなのメンテナンスDIYで、ウッドデッキ塗装の方法が載っていました。家にもウッドデッキがあり、痛んで来ているので参考になりました。ありがとうございます。（一宮市／H様）

みんなのメンテナンスDIYはよい企画だと思います。新築建設にお世話になった人々の集いを企画していただき、ハウジングセンターでのパーティ、パーティー、食事会などを伝えられればと思います。（津島市／T様）

▶前号から新しく設けたコーナー「みんなのメンテナンスDIY」にコメントを寄せていただき、誠にありがとうございます。今後取り上げてほしいメンテナンスのテーマなどありましたら、アンケートにてお知らせください。また、このコーナーはホームページにもありますので、そちらも合わせて見ていただければ幸いです。どうぞ宜しくお願ひします。

[床ワックス]

準備する物

- 清掃道具 捕除機・バケツ・雑巾・モップ
- 材 料 洗剤……一般に市販されている中性洗剤が購入困難な場合は弱アルカリ性洗剤でも良い。
- 樹脂ワックス……一般に市販されている樹脂ワックスでも良い。(業務用ワックスの販売も行っています。)

◆「中性」とはpH値6~8



ワックスの掛け方

ワックスを掛ける前の清掃

1. ワックスを掛けれる部屋から、家具等を出す。
2. 窓内に捕除機をかける。
3. バケツに洗剤を入れる。(使用洗剤の希望率を守る)
4. 3の洗剤を使用してモップ又は雑巾で床を拭く。
5. 床が乾かなくうちに、水で洗ったモップ又は雑巾で床を拭く。



ワックス掛け

1. バケツにワックスを入れる。(床面積に対して使用する量を入れる)
2. 1のバケツに綿綿な雑巾を入れ、雑巾にワックスを混らし、軽めに絞る。
3. 2の雑巾で部屋の四隅に余白を取りるように塗る。(4でモップで塗る際、四隅の家具、壁や柱にワックスが付かないようにする為)
4. モップでワックスを落とす、木目沿って塗っていく。



- 手荒れが気になる方は、ゴム手袋の着用をお勧めします。
- ワックスは、出入り口から遠い場所から、出入り口に向かって行ってください。(部屋を出るのが困難になる可能性があります。)

発行
新和建設
責任人
吉村真三

編集人
伊東 かおり 遠浅 千久

THANKS

桜野君、山崎智子、有田幸司、大根弘宣、武藤悠貴
加藤光尚、木村昌則、村田元夫、中村和子、戸上昭司

監修協力

加藤さんご夫妻、一般社団法人JR連携プラットフォーム
一般社団法人草の根ささえあいプロジェクト

PRINTING

ブレイザーコーポレーション

編集後記

▶放送部経験を生かし自分なりの文を書きました。それぞれの想いが読者に伝わり、支援となれば幸いです。(武藤)

▶家ではこたつ生活が始まります。同時に、仕事と睡眠との戦いも始まります。(大橋)

▶12月に入り4日間高熱でダウンしました。結果、一週間ほど味覚障害になり、今は「おいしさ」の喜びを噛み締める毎日です。(伊東)



株式会社
新和建設

本社・本店 Life住宅館
愛知県北名古屋市野崎山神井15番地
TEL 0568-23-0536 FAX 0568-22-3012

美濃加茂支店・夢の住宅館LEGEND
岐阜県美濃加茂市木曽町9-15-60
TEL 0574-25-0831 FAX 0574-25-6900

高山支店・LIVEすまい館
岐阜県高山市松本町34-1
TEL 0577-32-8783 FAX 0577-32-8783

岐阜黒川支店
岐阜県加茂郡白川町黒川1646
TEL 0574-77-1314 FAX 0574-77-1314

一宮展示場
愛知県一宮市内宿町五日市場字本郷38番地
TEL 0568-81-3375 FAX 0568-81-3375



津島東展示場 稲葉田ウシジカヒタ
愛知県名古屋市熱田区三本松町25-1
TEL 052-883-5305 FAX 052-883-3581



黒川東展示場 鹿渡町ウシジカヒタ
愛知県名古屋市北区猪投町
TEL 052-914-5730 FAX 052-914-5731



蟹江展示場 蟹江ウシジカヒタ
愛知県海部郡蟹江町北斯田1-60
TEL 0567-94-1566 FAX 0567-94-1556



可児展示場 可児ウシジカヒタ
岐阜県可児市下恵土字針田4100
TEL 0574-61-1638 FAX 0574-61-0721



春日井展示場
愛知県春日井市西山町2丁目6番9
TEL 0568-86-3873 FAX 0568-86-8668



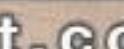
各務原展示場 岩田ウシジカヒタ
愛知県各務原市岩田青葉町3丁目41の1
TEL 056-371-2013 FAX 056-371-7014



木曽の森 鹿田総合住宅展示場
北名古屋市鹿田台240番
TEL 0568-68-6015 FAX 0568-25-0690



恵木の杜 可児総合住宅展示場
岐阜県可児市下恵土2983-1
TEL 0567-63-0715 FAX 0567-63-7016



高山展示場
岐阜県高山市松之木町308
TEL 0577-32-8782 FAX 0577-32-8783